

事業番号	11 05 03	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課		
		実施期間	R3 ～	E-mail	kasen @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年豪雨災害が激甚化・頻発化している。
被害軽減のため、流域全体で治水対策を実施する流域治水の取組拡大が必要である。

2 事業目的

洪水による被害を軽減するため、河川管理者のみならず市町村、民間事業者、県民など流域のあらゆる関係者が協働する取組の拡大を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①流域治水の取組を推進

- 流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、県有施設の屋根等に降った雨を貯留するため、雨樋下に雨水を貯留するタンク等を設置
- 取組を普及するため、テレビCM等啓発活動を実施



雨水貯留タンク
（長野商業高校）



テレビCM

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	雨水貯留タンクの設置（累計）	箇所	182	284	↗	367	↗	362	達成 長野県流域治水推進計画において、R7年度までに439基設置が目標であるため、R6年度は78箇所設置を目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進	河川改修による水害リスク低減家屋数	戸	2022 (R4)	3,608	2023 (R5)	4,151	2024 (R6)	4,752	2027 (R9)	6,340

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	40,683	7,161	47,844	7,189	47,697	2.4
R5年度	9,414	23,694	27,680	60,788	4,404	58,313	2.4
R4年度	3,556	21,617	1,229	26,402	1,156	16,505	2.4

事業番号	11 05 03	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課		

7 主な取組実績と成果

①流域治水の取組を推進

- ・県有施設に雨水貯留タンクを83箇所設置し、「留める」取組を推進。
- ・6月にポスター掲示・パネル展示、7～10月にテレビCM放送を行い、流域治水の取組を促すための啓発活動を実施した。
- ・流域治水模型を活用し防災学習（8回）を行ったほか、今後の防災学習で活用するための防災学習カードを作成した。



雨水貯留タンク
（明科交番）



流域治水模型を用いた
防災学習



防災学習カード

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	雨水貯留タンクの設置（累計）	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
寄附金を活用したことにより、設置箇所数は目標値の78箇所を上回る83箇所となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・市町村や民間事業者、県民などが協働する取組を促進するため、引続き県が率先して雨水貯留タンクの設置を推進する必要がある。
- ・現状、「流域治水」の取組が広く民間事業者や県民などに浸透しているとは言い難く、継続して普及啓発活動を実施していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・雨水貯留タンクの設置について、引続き県有施設への設置を進め、R7年度までに439基の設置を目指す。
- ・普及啓発について、流域治水模型や啓発動画を活用し、小中学校で総合学習や防災学習を行うとともに、映画館やデジタルサイネージ、Web公告等新たな媒体を用いた広報を行うことで「流域治水」の取組を拡大させていく。

事業番号	11 05 03	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検	
事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	流域治水推進事業		16,505 千円	58,313 千円	47,697 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	雨水貯留タンク設置事業	直接	流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、「留める」ことにより河川の負担を軽減させる「雨水貯留施設の設置」を広く促すため、県有施設に雨水貯留タンクを設置 実施数 83箇所		
2	流域治水事業に係る普及啓発事業	直接	民間事業者・県民に対しての普及啓発を継続して行い、「流域治水」の重要性を周知し、雨水貯留等の取組推進につなげる 実施内容 テレビCM制作及び放送、流域治水模型を用いた防災教育、流域治水カードの作成		